



みかんぐみだより

(2歳児)

なかよし保育園
令和5年8月 NO.3

水遊びに慣れてきた子ども達。プールの中でわに歩きをしたり水しぶきを上げ、保育者に水をかけたり、プールの横で水鉄砲や魚すくいをしたりと、それぞれ自分で遊びを選び、水に触れて夏ならではの遊びを楽しんでいます。連日気温の高い日が続く、疲れが出やすい時期なので、園でも水分補給や休息を心掛けています。家庭でも早寝、早起き、朝ご飯の生活リズムを整えるなど一日の疲れを次の日に残さないよう気を付けていただきたいと思います。

水遊びたのしいね！



朝のおやつ後、保育者が「今日はプールに入るよ」と話すと、子ども達はプールバックをもって椅子に座り、服を脱ぎだします。その様子を見ていると、プールや水遊びを楽しみにしていることが伝わってきます。プールでは、保育者がワニになったり、トンネルをつくったりすると子ども達もワニになったりトンネルをくぐったりと水に親しみ遊んでいます。一方で、水が苦手な子ども達は、水鉄砲や金魚すくいなどで水の心地よさを感じながら遊ぶなど、子ども達自身が遊びを選び、人や物を介して夏ならではの遊びを楽しんでいます。



猛暑が続く日もあり、室内でも水に触れて遊べるような環境を整えることで、水や氷に触れて遊ぶことを喜んでいます。氷遊びでは、「冷たい」と言い、触り方も人差し指でツンツンと触る姿から、氷の冷たさを感じていることが分かりました。



子ども達は、日々、様々なものに触れ、言葉や体で感じたことを伝えようとする表現する力も育ってきています。



おまつりごっこ 楽しいね！



4, 5歳児がお祭りで食べたいものや遊びたいゲームを聞きに来てくれたことで、「お祭り」という言葉を知り、お祭りのイメージを絵本を見たり保育者の話を聞いたりして膨らませます。「りんご飴が食べたい」「たこ焼きがいい」など年上の友達に保育者と一緒に思いを伝え、お祭りごっこを楽しみにしていました。

みかん組でも日頃から遊んでいた魚釣りのコーナーをつくり、子ども達に、大きな紙に絵の具を手につけてパタパタ塗り、魚をつくるお手伝いをしてもらいました。

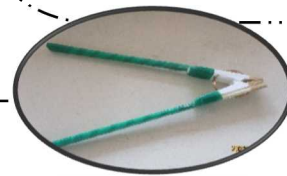
お祭り当日は、いろいろなお店を保育者や友達と回り、「お祭り楽しかった」とお話ししてくれました。お祭りごっこの



余韻もあり、その後もお部屋でミニお祭りごっこを楽しんでいます。特にぶどう組さんのワニワニパニックがお気に入りのみかん組さん。お部屋では、お店の人になってワニを出したり引っ込めたりして、年上の友達の姿をしっかり見ていたんだということが伺えました。



焼けたかな？



魚釣りをして遊ぶ経験から、バーベキューごっこが始まりました。手づくりのトングを使って魚やままごと用の野菜から果物まで何でも焼いては、焼きあがると、お皿にのせて食べたり、保育者に持ってきてくれたりします。はじめは、指先の力をうまく使えず、トングでなかなかつかめずにいましたが、繰り返し遊んでいく中で、トングや指先の力の使い方を知り、やってみることでコツをつかみトングを上手に使えるようになってきています。

生活面では、子ども達一人一人の発達に合わせてスプーンやフォークから箸をもって食べるようになっていきます。遊びの中で自然と指先を使うことで、きれいに箸をもつ力にもつながっていきます。子ども達の興味や関心に合わせて、指先だけでなく全身を使った遊びを保育者と楽しみ、運動に関わる諸機能を発達させるとともに自分の体で様々な感覚を体験することができるようにしていきたいです。

※給食の時間にお皿をもって食べることやフォークをバンバン持ちで食べることを働きかけています。バンバン持ちについてのお手紙を別紙で持ち帰りますので、お家でも参考にしながら一緒に働きかけていただくと嬉しいです。

